

7 階東病棟に入院された患者様へ

当病棟では「心臓カテーテル検査後におこるカテーテル穿刺部の出血と、経口抗凝固薬・抗血小板薬との関係性の検証」というテーマで看護研究を行っています。この研究は入院中に得られた患者様の情報をまとめることによって行います。このような研究では、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

1. 研究目的

心臓カテーテル検査後に使用する止血バック開放後の出血を起こす発生要因を調査し、危険因子を把握することで今後の出血トラブルの減少に取り組みたいと考えています。

2. 研究方法

対象となる患者様

平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日まで心臓カテーテル検査を受けた患者様

利用するカルテ情報

年齢、性別、診断名、既往歴、出血の有無、出血がおこった時間帯、帰室後のバイタルサイン測定値、経口抗凝固薬・抗血小板薬内服の有無

なお、今回の研究はカルテから必要な情報を収集するのみで、研究に協力することによって皆様に危険や負担がかかることは一切ございません。また、収集した情報は当院で責任をもって個人が特定されないよう厳重に管理します。個人のプライバシーに関する秘密は固く守られることを保証します。

3. 本研究への不同意

今回の研究では、平成 29 年 6 月 1 日から平成 30 年 5 月 31 日までの期間アブレーション治療を受けられた皆様から特に連絡がない場合には、カルテから得られる必要な情報を研究のために利用させていただきます。もし情報を本研究の為に提供したくない方がいらっしゃいましたら、平成 30 年 9 月 30 日までご遠慮なく以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。なお、今回の研究に協力しないことによって、当院での診療・治療において不利益を被ることは一切ありません。

問い合わせ先 代) 022-308-7111

研究責任者 7 東病棟 寺島 敦子 佐藤 綾子